Toranvia

2027年3月期
第2四半期　決算補足説明資料

株式会社トランヴィア　|　2026.11.10

目次

01　第２四半期 決算概要
02　業績見通し
03　中期経営計画
04　参考資料

目次

01　第２四半期 決算概要
02　業績見通し
03　中期経営計画
04　参考資料

株主還元施策

■ 配当予想

中間配当は1株当たり20.00円(11月10日開催の取締役会で決議)とし、年間の配当予想は前回公表から変更ありません。

	1株当たり配当額		
	第2四半期(決定)	期　末(予想)	合　計(予想)
2027年3月期	20.00円	20.00円	40.00円

■ 株主優待

2026年9月末の株主様を対象に、以下贈呈いたします。(12月上旬発送予定)

保有株式数	優待内容
100株以上	クオカード　3,000円分 (うち、記念優待 1,000円)

Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

受注面 注力事項

既存顧客との取引拡大に加え、ユーザー企業との直接取引や新規顧客の開拓に注力

1 顧客基盤の拡大

・金融・公共分野を中心とした既存顧客との取引拡大

・ユーザー企業との直接取引や新規顧客の開拓

2 AI関連の商談機会の拡大

・AI駆動開発や生成AIを活用したシステム刷新等の提案

・検証・提案段階から実案件への適用を拡大

3 グループ連携と提案領域の拡大

・グループ各社の営業・技術面での連携による共同提案・複合的な提案活動

・DX関連・パッケージサービス・インフラサービス分野での提案領域の拡大と新規案件の獲得

上期の進捗

保険及び非金融領域において、直接取引による大型案件を獲得

生成AI関連の案件・商談が拡大し、売上高・受注高ともに伸長

Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

生産面 注力事項

AI駆動開発の実案件への適用を進め、開発効率と品質を向上

1 開発へのAI適用推進

・AI駆動開発の実案件への適用を推進

・生成AIを設計・製造・テスト等の開発工程で活用し、開発効率と品質を向上

2 開発・調達業務の効率化

・生成AIの社内業務への活用を拡大

・開発部門及び管理部門の業務効率化を推進

3 品質管理業務での連携拡大

・プロジェクト管理体制の強化と品質向上施策を継続

・不採算案件の抑制と収益性の改善に注力

上期の進捗

品質会議の開催要領を両社で統一し、不採算プロジェクトを削減

調達業務へのAI適用など、外部パートナー利用の効率化

Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

業績ハイライト

（単位：百万円）

	2026.3月期 第2四半期	2027.3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
売上高	14,807	15, 948	1,141	7.7%
営業利益 （営業利益率）	1,560 (10.5%)	1, 269 (8.0%)	△291	△18.6%
のれん償却費	－	349	－	－
調整後営業利益※ （営業利益率）	1,560 (10.5%)	1, 618 (10.1%)	58	3.7%
経常利益 （経常利益率）	1,573 (10.6%)	1, 291 (8.1%)	△282	△17.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	1,052	704	△348	△33.1%

＊本資料における2026年3月期の数値は、東邦システムサイエンスとランドコンピュータの実績を単純合算した参考値です。
※調整後営業利益：営業利益から、のれん償却費・拠点集約等の一時費用の影響を除いた利益

Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

サービスライン別 売上高

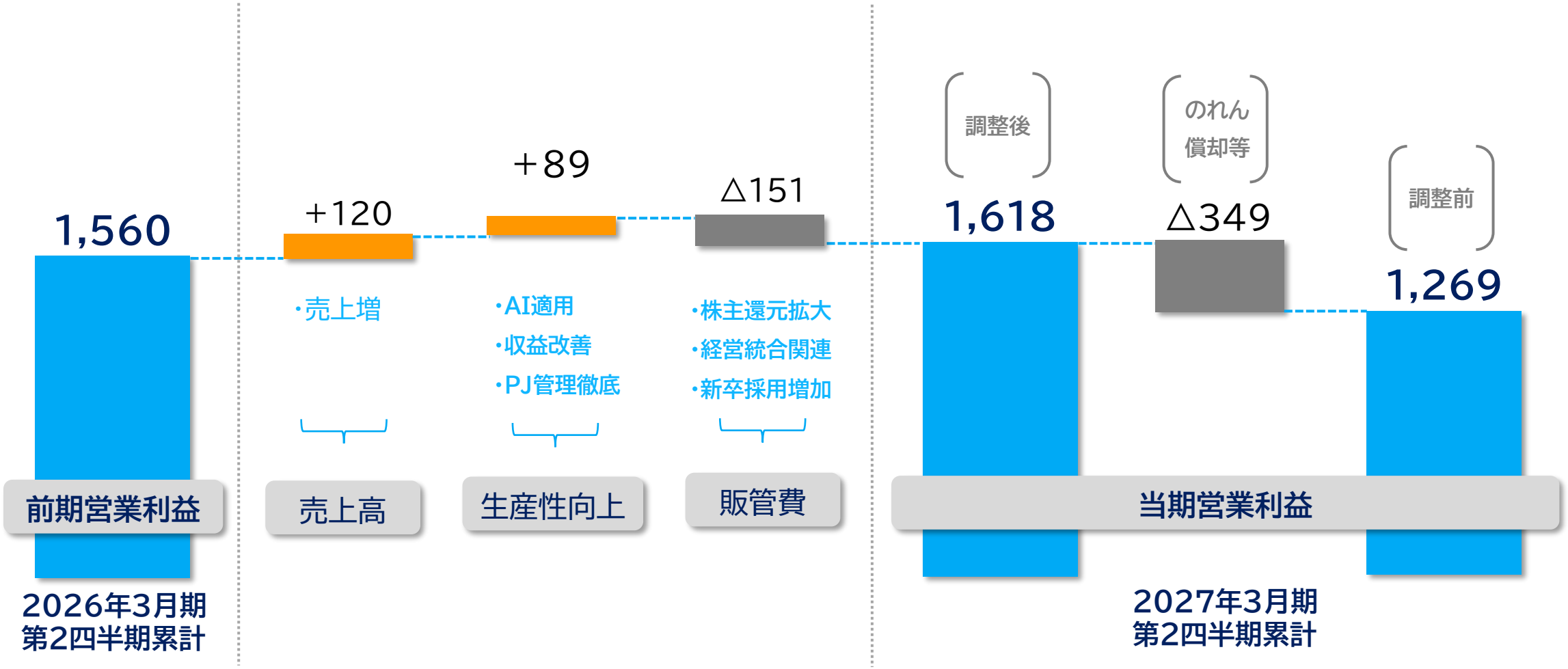
（単位：百万円）

サービスライン	2027.3月期 第2四半期	主なトピックス
ソフトウェア開発（金融）	7,967	損保・共済の基幹刷新拡大、銀行・証券の統合・更改案件拡大
ソフトウェア開発（非金融）	3,311	公共（マイナンバー関連）継続、建設・流通領域等の新領域獲得
パッケージサービス	2,549	Salesforce案件の拡大、ServiceNowが年間1億円規模に成長
インフラサービス	1,962	銀行・通信領域の保守案件、公共・保険領域の更改案件拡大等
情報システムサービス	157	モバイル証券クラウドシステム運用・監視サービス
合 計	15,948	

Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

営業利益分析

（単位：百万円）



Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

目次

01　第２四半期 決算概要
02　業績見通し
03　中期経営計画
04　参考資料

通期業績予想

直近に公表した通期業績予想からの修正はありません

（単位：百万円）

	2026.3月期 実績	2027.3月期 予想	増減額	増減率（%）
売上高	30,889	32,800	1,911	6.2%
営業利益 （営業利益率）	2,976 （9.6%）	3,600 （11.0%）	624	21.0%
経常利益 （経常利益率）	3,005 （9.7%）	3,622 （11.0%）	617	20.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,640	2,430	790	48.2%

＊本資料における2026年3月期の数値は、東邦システムサイエンスとランドコンピュータの実績を単純合算した参考値です。
※調整後営業利益：営業利益から、のれん償却費・拠点移転等の一時費用の影響を除いた利益

Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

通期業績予想(進捗)

売 上

15,948 百万円	上期進捗率 48.6 %	達成まで 16,852百万円	通期予想 32,800百万円
14,807 百万円	前年同期予想進捗率 42.4 %		

調整後営業利益

1,618 百万円	上期進捗率 44.9 %	達成まで 1,982百万円	通期予想 3,600百万円
1,560 百万円	前年同期予想進捗率 43.7%		

＊調整後営業利益:営業利益から、のれん償却費・拠点移転等の一時費用の影響を除いた利益です。

受注実績

(ご参考)

	受注高(百万円)	受注残高(百万円)
当第2四半期累計期間	15,334	6,210

Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

目次

01　第２四半期 決算概要
02　業績見通し
03　中期経営計画
04　参考資料

「TRV Vision500
中期経営計画 2026–2030」から一部抜粋

1. 事業環境認識

取引構造の変化	顧客ニーズ・取引構造の変化	価格モデルの多様化	業界再編・M&A	→	大転換① 立ち位置の転換
技術・収益の変化	DX・AI需要の拡大と変化	開発モデルと体制	サービス型収益モデルの浸透	セキュリティ・レジリエンス	→ 大転換② 事業構造・収益モデルの転換

共通の制約
（2つの大転換の前提）

人財不足・獲得競争

Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

2. 自社の現状分析

FY25 実績	309億円 売上高	29.8億円 営業利益	10.9% ROE

強み（活かす）	課題（環境変化とのギャップ）	変革余地（成長余地）
金融の業務知見	人月・受託型への依存	グループ横断の営業・人財配置
現場との近さと信頼	上流からの関与不足	AI駆動開発の標準化
現場での改善提案実績	サービス型収益の未確立	知見・部品の資産化
大規模案件のPM・品質力	不採算案件・パートナー連携管理	資本コストを意識した資源配分
		会社統合・クロスセル

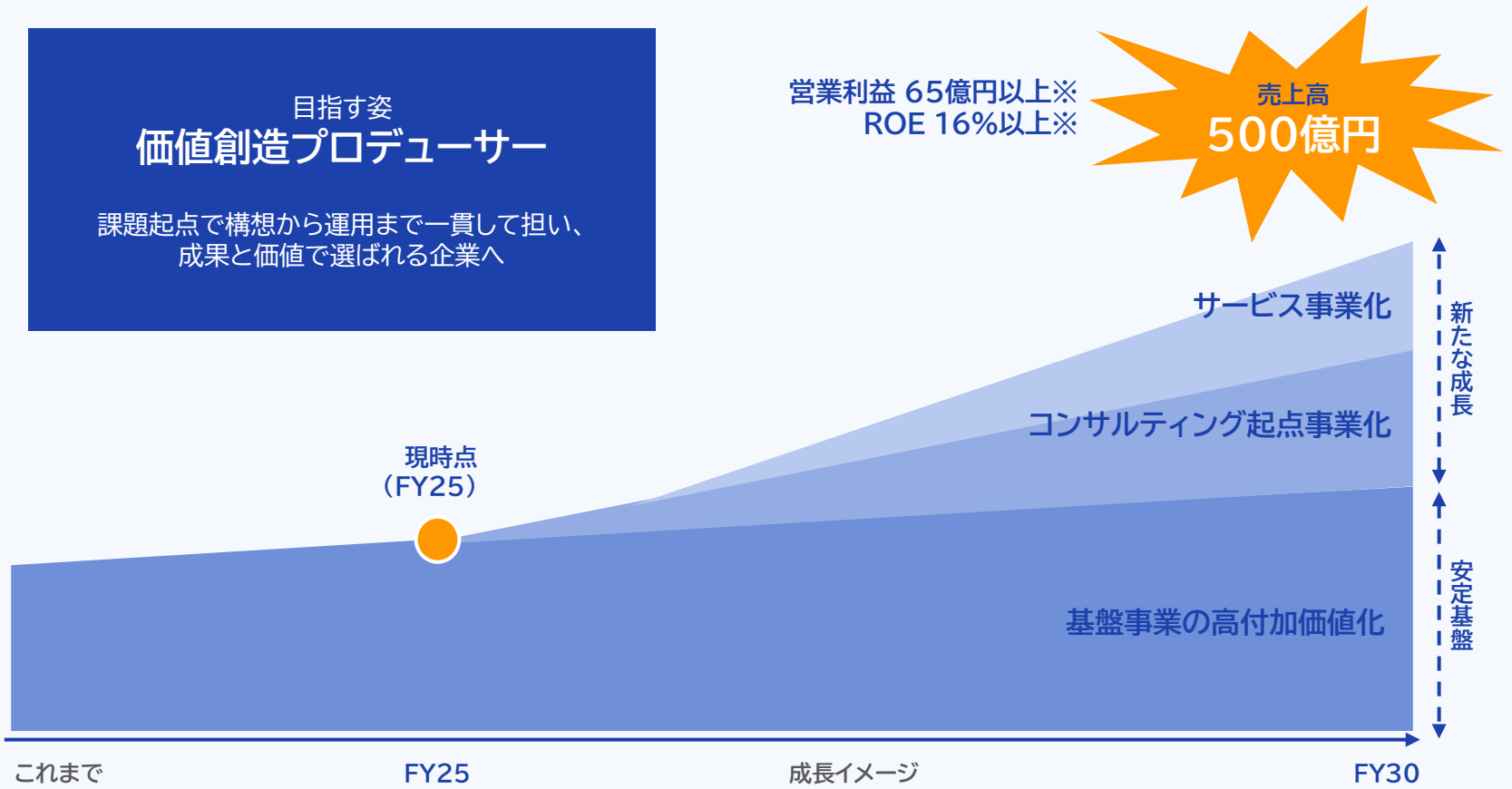
※ 営業利益、ROEはのれん償却費・一時費用を除く

Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

1. 中長期ビジョン

目指す姿
価値創造プロデューサー

課題起点で構想から運用まで一貫して担い、
成果と価値で選ばれる企業へ



変革の柱

2つの大転換
立ち位置／事業構造・収益モデル

成長戦略・機能別戦略
8つの戦略で実行

会社統合
2028年を目途に拠点集約、
2030年を目途に完全統合

※ 利益・ROEはオーガニック（のれん償却の影響を除く）ベース

Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

2. 8つの成長戦略・機能別戦略

環境変化を踏まえ、2つの大転換を8つの戦略で実行

大転換① 立ち位置の転換	戦略1	コンサルティング起点への変革	課題を共に捉える営業へ／独自のFDE型モデル
大転換② 事業構造・ 収益モデルの転換	戦略2	付加価値ビジネスの創出	サービス型へ拡張／FY30 サービス売上高50億円
	戦略3	全社でのAIネイティブ化	経営・事業・管理部門のすべてでAI活用
	戦略4	統合によるシナジー創出	東邦システムサイエンス × ランドコンピュータの強みを掛け合わせ
	戦略5	M&A・アライアンス	M&Aを機動的に実行／アライアンスで共創
共通の基盤 （2つの大転換の前提）	戦略6	人財育成の強化	採用・育成・認定・配置を一体で推進
	戦略7	経営基盤の強化	2028年目途に拠点集約、2030年目途に完全統合
	戦略8	サステナビリティ	マテリアリティと連動した指標で推進

Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

3. 計画全体像

目指す姿｜TRV Vision500　価値創造プロデューサー ― お客様と共に未来を創る

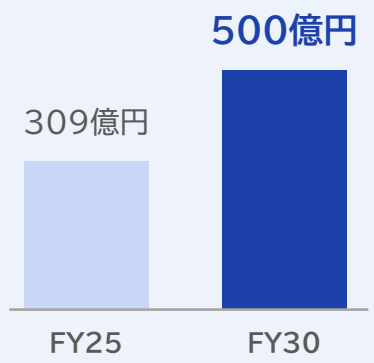
課題認識	2つの大転換	成長戦略・機能別戦略				2030年の目標
課題① 取引構造の変化	大転換① 立ち位置の転換	戦略1 コンサルティング起点への変革			戦略5 M&A・ アライ アンス	2030年の目標 売上高 500億円 （うちM&A 30億円） 営業利益 65億円以上※ ROE 16%以上※ 生産性 年率5%以上
課題② 技術・収益の変化	大転換② 事業構造・ 収益モデルの転換	戦略2 付加価値ビジネスの創出	戦略3 全社でのAIネイティブ化	戦略4 統合によるシナジー創出		
変革を支える基盤 人財・経営基盤・サステナビリティ		戦略6 人財育成の強化	戦略7 経営基盤の強化	戦略8 サステナビリティ		

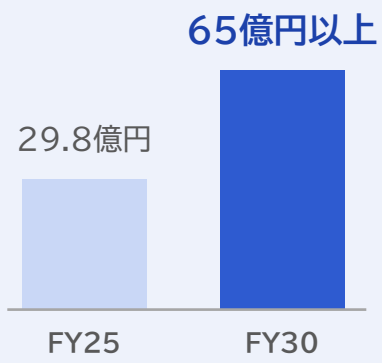
※ 利益・ROEはオーガニック（M&A・のれん償却の影響を除く）ベース。生産性は一人当たり売上総利益

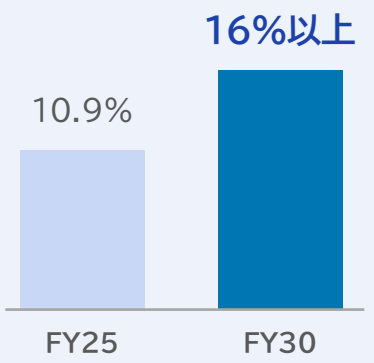
Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

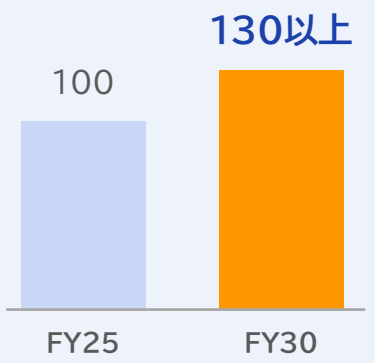
1. 経営目標

規模・成長	収益力	資本効率	生産性	株主還元
売上高	営業利益	ROE	一人当たり売上総利益	総還元性向







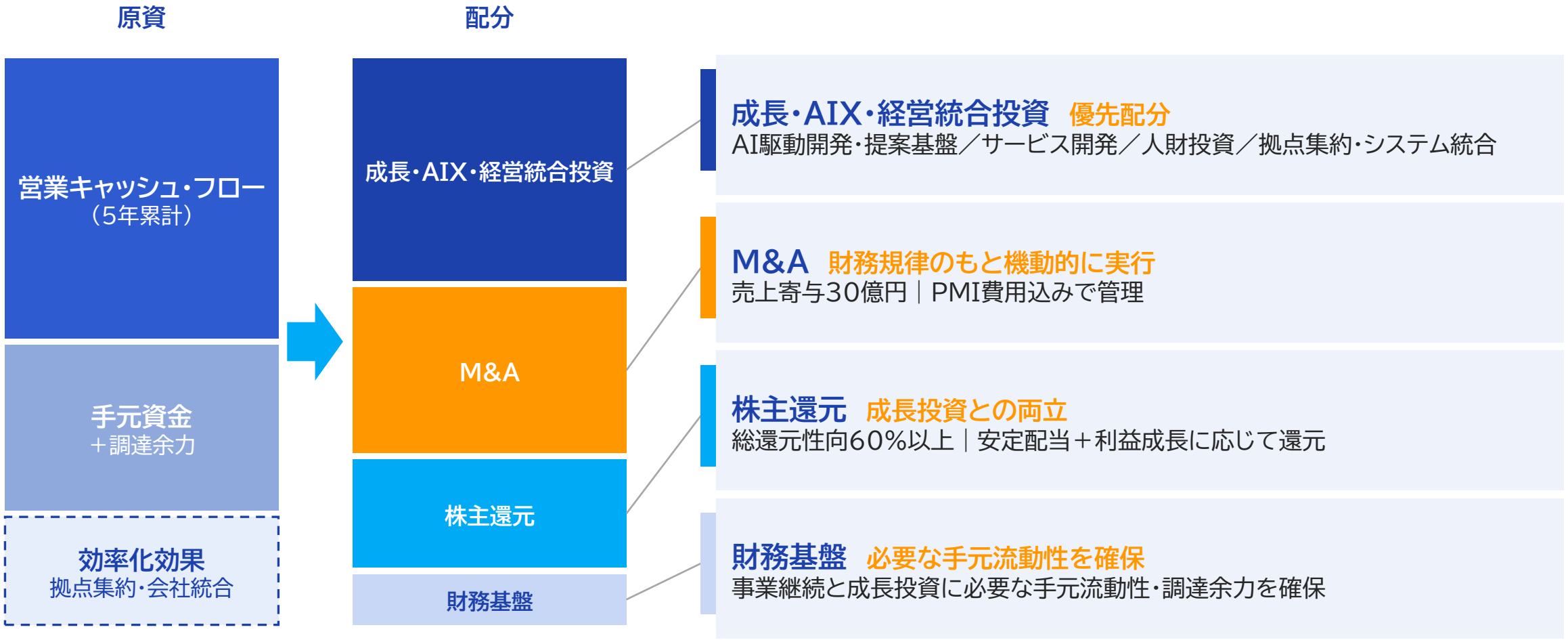


60%以上
を維持

※ 利益・ROEはオーガニック（M&A・のれん償却の影響を除く）ベース。売上高500億円はM&Aによる売上寄与30億円を含む（オーガニック470億円）
一人当たり売上総利益130は2025年度を100とした場合の指数

Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

2. 資源配分方針



Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

目次

01　第２四半期 決算概要
02　業績見通し
03　中期経営計画
04　参考資料

貸借対照表

（単位：百万円）

	当第2四半期連結会計期間末 （2026年9月30日）
資産の部	
流動資産合計	19,370
固定資産合計	12,487
有形固定資産	227
無形固定資産	10,402
投資その他の資産	1,857
繰延資産合計	12
資産合計	31,870

	当第2四半期連結会計期間末 （2026年9月30日）
負債の部	
流動負債合計	3,968
固定負債合計	2,396
負債合計	6,365
純資産の部	
株主資本合計	24,998
その他の包括利益累計額合計	481
非支配株主持分	25
純資産合計	25,505
負債・純資産合計	31,870

Copyright © Toranvia Co., Ltd. All rights reserved.

Mission

「お客様と共に未来を創る」

＊本資料についてのご注意

本資料に記載されている株式会社トランヴィア等における将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようにお願いいたします。